

アンケート集計表

項目		旭川 常盤会	函館 いちいの会	帯広 しらかばの会	釧路 SOA	木田金次郎 ポプラの会	計
1. 交流会開催	今後も開催		1		1	1	3
	一旦中止	1					1
	その他						0
2. 開催間隔	2年ごと		1				1
	3年ごと				1		1
	その他						0
3. 開催地の当番	準備可能		1		1		2
	準備不可能	1				1	2
4. 開催時期	夏						0
	秋	1	1				2
	その他				1		1
5. 講演会	有						0
	無	1			1		2
	その他		1				1
6. 展覧会の鑑賞	有	1	1		1		3
	無						0
	その他						0
7. 飲食を伴う交流会	有						0
	無	1	1				2
	その他				1		1
8. 宿泊を伴うこと	仕方ない	1			1		2
	日帰りが良い		1				1
9. リモート開催	可能						0
	検討中						0
	不可能	1	1		1		3

アンケート集計表

項 目		事業部	広報部	売店部	解説部	資料部	研修部	特活部	計	回答率
部員数(人)		12	10	37	50	31	11	19	170	85%
回答数(人)		11	10	34	40	25	11	14	145	
1. 交流会開催	今後も開催	4	5	5	17	13	3	6	53	37%
	一旦中止(全て)	6	5	29	22	10	8	6	86	63%
	〃 (近美のみ)	1	0	0	1	2	0	2	6	
2. 開催間隔 (今後も開催と回答)	2年ごと	3	(1) 3	4	(4) 9	6	3	5	32	
	3年ごと	0	2	(4) 0	(3) 5	3	0	1	11	
	その他	1	0	(1) 0	3	4	0	0	8	
3. 開催時期 (今後も回答と回答)	夏	2	1	(2) 0	(4) 3	6	2	0	14	
	秋	1	(1) 2	(2) 4	(7) 11	5	2	6	31	
	その他	0	2	0	2	2	0	0	6	
4. 講演会	有	5	5	13	19	14	4	9	69	48%
	無	3	4	13	13	6	6	3	48	33%
	その他	0	0	0	0	4	0	1	5	
5. 展覧会の鑑賞	有	4	6	16	23	15	6	10	80	55%
	無	4	3	8	8	5	3	3	34	23%
	その他	0	0	1	1	3	1	0	6	
6. 飲食を伴う交流会	有	3	0	1	8	1	2	2	17	12%
	無	4	8	27	23	21	6	11	100	69%
	その他	1	1	0	3	2	2	0	9	
7. リモート開催	有	5	3	12	25	14	6	9	74	51%
	無	4	4	13	7	6	2	4	40	28%
	その他	0	2	2	0	3	0	0	7	
8. 交通費、宿泊費、 参加費の負担	全額自己負担	3	2	3	1	1	7	2	19	13%
	一部補助	2	7	14	25	18	2	10	78	54%
	全額補助	1	0	9	4	2	0	1	17	12%

- 1.交流会開催について、[一旦中止]の項目にチェックが付いて(全て、近美のみ)にチェックがないものについては(全て)で集計している
- 2.開催間隔・3.開催時期について、[一旦中止]にチェックが入り、さらに回答しているものについては()内の数値で表記し合計には反映していない
- チェックが無い項目は数値に反映していない(その他にカウントされているケースがあった)
- [一旦中止]と回答した人で、4~8の設問に全くチェックが入っていない人数
事・2 広・1 売・7 解・6 資・2 研・1 特・0 合計：19人

その他回答・意見(各館)

2.開催間隔

- ・原則3年、但し当番間の状況で判断する

4.開催時期

- ・祭事、その他の条件で決める(夏は暑いのと、宿泊費が高いので避ける)

5.講演会

6.展覧会の鑑賞

7.飲食を伴う交流会

- ・軽食程度で各班に分かれて交流できるようにする

8.宿泊を伴うことについて

9.リモートの開催

- ・全体ではなく「会長会」などで情報交換のの時に使用しては

10.その他意見

- ・今後共、各間のボランティアが結びついていけることを願う
- ・各美術館での活動形態が異なるので、交流会自体は良いと思うが有益な交流になるかといえば疑問である
- ・木田金次郎美術館 ポプラの会から、令和5年度はなるべく参加したいとの意向

その他の回答・意見(アルテピア)

2.開催間隔

- ・4年ごと:3名
- ・5年ごと:1名
- ・毎年:2名
- ・適宜:1名

3.開催時期

- ・不定期6名(展覧会による、協議の上)
- ・コロナが終息したら:1名

4.講演会

- ・計画時に検討

5.展覧会の鑑賞

- ・互いの展覧会招待があっても良い:1名 ・希望者のみ:1名
- ・時期と展覧会による:4名

6.飲食を伴う交流会

- ・適宜(事前に希望者をとる):3名
- ・茶話会程度:2名
- ・交流会は有り、飲食は無:1名

7.リモートの開催

- ・状況に応じて:4名

9.その他意見

<開催希望の意見>

- ・交流会がどういうものか経験してみたい
- ・ボランティア活動を続ける中で、他都市、他施設の活動を知ることは大事だと考える
- ・やめるのは簡単だが、全道でボランティアのつながりは残しておくことは重要
- ・広く他の館の情報を知ることが大切
- ・コロナ禍の中で中止は仕方ないが、お互いのボランティア活動を知るうえで交流はある方がよい
- ・中止してしまうと再開は難しいと思うので、延期して感染が落ち着いたら開催してほしいし、展覧会は観覧したい
- ・他館の運営の仕方などは参考になり、一生懸命ボランティアに取り組んでいる姿は励みになる
- ・交流会は全ボランティアの熱量を感じられ、有意義だった
- ・平成3年から開催されてきた、という意義と重要性を考えると、アンケートで何を抽出したいの判りかねる
- ④⑤は各美術館並びにボランティアの取り組みを知りえる機会として当然セットのもの
- ・他の美術館との交流は大切な行事
- ・このような活動は終了してしまうと再開するのは難しい

- ・開催の意義はあると思うもので、コロナが終息したらした方が良い
- ・止めるのは簡単だが、設立した初心を大切に、その時期の情勢に応じて交流会は存続したほうが良いと思う
- ・4年に一度程度が一番良いのではないか

<開催の在り方についての意見>

- ・交流会をイベントととらえるのではなく、道内美術館ボランティア同士の情報交換の場として、各館で委員を募りボランティアの意見をまとめ、資料を提出する形式で良いと思う。交流会の目的は親睦より情報交換の場
- ・リモート開催を主に情報交換の場を主体としては
- ・交流会が行われるのであれば参加費は全額補助を希望
- ・最近の状況(経費や日程調整の厳しさを含め、経済状況、個人の置かれた状況)を考えると、規模の大きな会合は難しいと思う。オンライン、リモートで代表者の話し合い(交流)で良いのでは
- ・主催館の負担を考えると会議の持ち方を根本的に見直す時期にあるのでは。美術館側にボランティアの存在を考慮してもらう機会でもある
- ・交流会というよりは、互いの情報交換の場と考えたい。文書、リモートでも充分
- ・意見交換は必要と思うが、少人数の会議で良いと思う
- ・感染状況により当面はインターネットを利用し、感染が治まったら交流会を開催するのが良いと思う
- ・実際に会うことも大切だが、ネット上でも交流できるよ良いと思う

<中止の意見>

- ・何度か交流会を見てきたが、交流会をすることによるメリットを感じない
- ・地方へは交通費がかさみ自己負担というのも中止の要因
- ・一度参加したことがあるが、当番になったところは大変だと思う。また、地方に行くときの個人負担も大きい
- ・近美のみ抜けてはと思う。活動内容が他とは違うので参考にならない。アルテピア各部と他館の部と個々で交流するのはどうか
- ・高齢化、コロナ禍等、人が集まることが困難な状況が今後も続くと思われるので中止
- ・中止から廃止の方向へ
- ・交流の意義が薄くなっている気がするので、一旦中止して意味を考える時期なのではないか
- ・過去2回参加したが、他館ボランティアとの交流はたいしてできない感じ、三役が動員される感が否めない。参加するなら参加費補助はあるべき
- ・参加経験なし、社会状況を鑑み中止とすべき
- ・時節柄、当面休止でよいのでは、コロナの状況をみて再度検討
- ・各館の体制に違いがあり、交流会に価値が見いだせない
- ・お便りの交換などでよい、準備の時間、お金に価値がない

<その他意見>

- ・交流会についてはよくわからない
- ・各美術館ボランティアが発行している機関誌に、持ち回りで記事を投稿しては
- ・今回のアンケートは参加したことのある人は関心を持って回答するが、各部少数の参加経験の方しかいないのであまり意味が無い
- ・参加したことのないものには関心が無く、経済負担も大きい。近美のボランティアの交流会がほしい